



東俣野 2月号

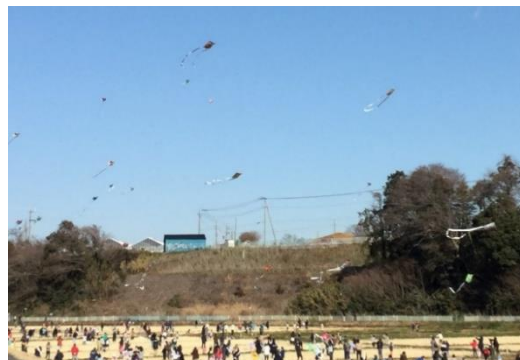
東俣野小学校 学校だより 平成31年1月31日

自分の中の鬼を追い出すために

副校長 宮崎 恵子

1月19日(土)の「凧づくり・凧あげ大会」には、ご多用の中たくさんの保護者の皆様にご参加くださり、どうもありがとうございました。当日は天気にも恵まれ大成功に終わりました。真っ青な空にたくさんの凧が舞いあがる景色は本当に感動的でした。

こんな壮大な行事が創立以来30年以上ずっと続いていることは、大変素晴らしいことであり、また貴重なことだと思います。当日を迎えるまで、地域の名人の皆様には、10月の打ち合わせ会、12月の試作会、それ以外にもこの3か月間大変お世話になりました。また、ほかにも、凧あげ場所の水田をお貸しくださった方や、お手洗いをお貸しくださった方、凧づくりの補助や交通整理などでご活躍くださったPTA役員・委員の皆様・・・、地域の協力なしではこの行事の成功はあり得ません。ご協力くださった地域の皆様、そして保護者の皆様、本当にありがとうございました。



さて、2月3日は節分です。季節の節目を表すこの日は、豆をまいたり、恵方巻を食べたりするご家庭が多いのではないのでしょうか。私も、自分の家庭の無病息災を願って豆まきを行うだけでなく、学級を担当していた当時は、子ども達に節分の伝統行事を伝えながら「自分の中の鬼(邪気)を追い払おう!」と、自分の弱いところや直したいところを思って、豆(と見立てた紙玉)を鬼の絵にぶつける活動をしたこともありました。

しかし、考えてみれば、自分の弱いところや直したいところなんて、一回の豆まきで追い出せるはずはありません。「忘れ物が多い」「カッとなりやすい」「すぐに泣いてしまう」「意思が弱い」「計画が続かない」など、「わかってはいるのだけど・・・」と自覚しているのに、なかなか改善しない、そんな悩みは大人も子どもも誰もが抱えていると思います。

「自分の中の鬼を追い出す」ためには「自分自身の努力」が何より大切です。しかし、それはたやすいことではありません。だからこそ、誰かと一緒に頑張ることも、時として大切なことだと考えます。家族の励ましに支えられ、友達の応援があるから頑張れる、そうやって自分の大きな課題を乗り越えていく場面も多いと思います。

子ども達も、自分の弱い部分や改善したいところの克服には時間がかかることが多いです。大人から見ると、ついついできていない部分に目がいきがちですが、ぜひ少し長い目で見て、声援をおくってあげてください。その励ましが、頑張ろうとする「努力」のパワーを生み出します。子ども達にとって、自分の中の鬼を追い出すためには、福豆や巻き寿司より家族の励ましの方が、きっと大きな力になるはずです。